

# がんばれ 認定農業者!! シリーズ②

さつま町平川  
今別府 博樹 さん



今別府さんは、水稻2haと生産牛14頭の複合経営をされています。

認定農業者に認定されて、今年で3年になります。認定当初に立てた牛の増頭計画も順調に進んでいるそうです。生産効率を上げるため、3日離乳による生産に取り組まれています。また、平川地区農作業受託組合の組合員として、荒廃地が増えぬよう、地域農業を守るため、農作業受託もされています。

今別府さんは「年間を通じて子牛価格も安定しているの、今後も増頭とコスト低減を図りながら、経営の向上・安定に努めて魅力ある農業を目指したい」と話されました。

## 追跡 集落営農の動き



サトイモの収穫作業（一ツ木営農組合）

昨年2月から3月にかけて組織された「一ツ木営農組合」と、白男川地区農作業受託組合の2つの集落営農組織が、営農を開始してから初めての総会を1月27日と30日にそれぞれ開催しました。

「一ツ木営農組合」は、46人の構成員で、区画区分された集団転作の循環形態のプロックローテーションによる水稲・サトイモ・大豆・飼料などを作付けされ、組合名で販売もされています。「白男川

地区農作業受託組合」は、9人の構成員で、約12haの水稲の作業受託と販売をされています。

また、久富木区大長集落では、1月20日に大長地区農作業受託組合が設立され、求名区戸子田集落においては、戸子田農地組合（農用地利用改善組合）と戸子田農作業受託組合の設立総会が2月9日に開催されました。農用地利用改善組合としては、町内で10番目の設立となったところで、今後、他の地区においても、農用地利用改善組合や集落営農組織の設立に向けて話し合いがなされているところ

## もっと ニュース

宮之城歴史資料センターで防災訓練



1月29日、文化財防火デーとして宮之城歴史資料センターで防災訓練を行いました。消防本部、虎居分団が参加し、万が一に備えました。全国的に文化財防火運動が展開されていますが、文化財を火災・震災その他の災害から守るためには、町民皆様の連携・協力が必要です。

薩摩心酔会 町へ2万円寄付



2月14日、薩摩心酔会が役場を訪れ、町へ2万円寄付されました。薩摩心酔会は「地元へ愛される焼酎を」を合い言葉に有志が集い誕生しました。その思いを託され生まれた焼酎が「薩摩心酔 力三」です。町内の飲食店の方々や皆様方に広くご愛飲いただけるようになった感謝の気持ちと少しでも郷土に恩返しをしたいとの思いから、今回寄付をされました。

鶴田小学校器楽部のオープニング演奏の後、「私の意見・特技の発表」として鶴田幼稚園・小学校・中学校・同校出身の高校生などによる舞台発表や、特別出演として指宿市山川町の「山川ツマベニ少年太鼓」による太鼓演奏が披露されました。

また、地元農業団体や民生委員、高齢者は、出演者やスタッフの昼食として、おにぎりやそばの提供をしました。

## 女性の英知を結集しよう 第3回さつま町女性大会



女性の英知を感じる趣向を凝らしたオープニング

1月27日、鶴田中央公民館で第3回さつま町女性大会が開催され、女性団体などから約280人が参加しました。さつま町女性団体連絡協議会の西之園智保会長が「女性の英知を結集しよう」と呼びかけられ、オープニングでは、

9つの構成団体が「365歩のマーチ」の曲に合わせて、趣向を凝らして団体紹介を行い、会場を盛り上げました。

講演では、つるだ同朋保育園園長で法城寺住職の副直子さんが、子どもへのしつけや子どものために時間をかけることの大切さを保育園の仕事を通して訴えられました。

町食生活改善推進協議会の山本芳子さんからは、食育の大切さと免疫力を高める食事について活動報告がなされました。



講演をする副直子さん

## 町へ特別賞副賞 全額寄付 アロン電機株式会社



井上町長へ寄付をするアロン電機株式会社総括部リーダーの藤野登起子さん（右）

2月12日、本町立地企業で半導体製造の組み立てなどを行うアロン電機株式会社が、第14回鹿児島商工会議所産産業経済賞特別賞の副賞20万円を町へ寄付されました。

この顕彰は、鹿児島商工会議所が主催するもので、鹿児島県の産業振興や経済発展に著しい貢献をしている企業や団体などへ贈られます。

## すくすくと すくすくとすくすくとすくすくと



特別出演の「山川ツマベニ少年太鼓」太鼓演奏